龍ケ崎市スポーツ推進計画審議会会議録

					記録者	スポ	ーツ推進課 刻	医野 恵美
		部	長	次 長	課長	課長補佐	主査・係長	グループ員
供供	覧							
兴	見							
件	名	令和7年	F 度龍ク	r崎市スポーツ	推進計画審議会	:		
日	時	令和7年	年7月15	日(火)午後2	時00分~午後3時	時30分		
場	所	龍ケ崎	市役所	5階 全員協議	会室			
主催	者	龍ケ崎	市長	萩原 勇				
出席	: 者	池田由 青木サ 田中輝	太郎委 枝委員 ヨ子委 子委員	、安藤佳子委員 員、上原正和孝	井幸男委員(副 員、石川賀杜代 委員、髙野美枝-	委員、平野浩灵 子委員、塚本館	之委員、太田垣 第子委員、篠塚	淳一委員、 豊委員、
		欠席委	員…酒	井一浩委員、秦	南地光夫委員、 <u></u>	望月進委員、フ	卜村忠夫委員、	三渕和也委員
傍聴人の数		[市] 足立典生健康スポーツ部長、飯田啓司健康スポーツ部次長 スポーツ推進課…昇一信課長、木村敦課長補佐、関口裕之課長補佐、記録者 1名						
会議の	内容	議事						
		(1) (2) (3)	会長、		について -ツ推進計画のネ	進捗管理につい	いて	
		公 27/		非公開(一	部非公開を含む	n) E		
情報公	公開		分公開公開公開	公開が可能 範囲で記入	となる時期(可)	能な	年 月	日
下記については、令和7年7月15日(火)に開催した令和7年度龍ケ崎市スポーツ推進計画審議会の会議録に相違ないことを確認したので署名する。								
				会 長				
				- - -	委 員			
				<u>-</u> -	委 員			_

	発言の内容 (要旨)
事務局	[開会] 皆さんこんにちは。本日は悪天候の中ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。それでは、定刻となりましたので、ただいまより、令和7年度龍ケ崎市スポーツ推進計画審議会を開催いたします。 開会に先立ちまして、龍ケ崎市健康スポーツ部長足立よりご挨拶を申し上げます。
事務局	[部長挨拶]
事務局	続きまして、昨年12月より新たに龍ケ崎市スポーツ推進計画審議会委員の任期が始まっております。本来であれば直接委任状を交付させていただくところでしたが、委嘱後の最初の会議が本日と間が空いてしまいましたので、委任状を送付させていただきました。改めてよろしくお願いいたします。 多くの方が継続の中、今回新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、皆様から、お一人ずつ自己紹介をお願いできればと思います。それでは田簑委員から順番でお願いいたします。
各委員	〔委員自己紹介〕
事務局	ありがとうございました。また本日欠席されていますが、この他にも、審議会委員として、龍ケ崎市スポーツ少年団本部本部長、酒井一浩さん。同じく副本部長、菊地光夫さん。レクリエーション協会、望月進さん。市内中学校より、城西中学校校長、木村忠夫さん。総合型地域スポーツクラブ、NPO法人クラブ・ドラゴンズクラブマネージャー、三渕和也さんがいらっしゃいますので、ご紹介させていただきます。なお、委員の任期は、スポーツ推進計画審議会条例第4条第1項の規定に基づき、令和6年12月1日から令和8年11月30日までの2年間となりますので、よろしくお願いします。 続きまして、事務局を紹介させていただきます。
事務局	[事務局自己紹介]
事務局	それでは会議次第に従いまして議事に入ります。スポーツ推進計画審議会条例第6条第1項の規定により、議長は会長が務めることとなっておりますが、改選後初めての会議ですので、会長、副会長の選出までの間、事務局で進行させていただきます。はじめに、本日審議会は、委員総数20名のところ、出席者は15名で、委員の過半数が出席されていますので、会議は成立していることを宣言いたします。また、この審議会は、龍ケ崎市附属機関の会議の公開に関する条例により公開となっており、本日は1名の方が傍聴されております。傍聴される方においては、会議中はご静粛にお願いいたします。議事に入る前に、会議録作成に関して申し添えます。会議録は、会議の公開と同様に、龍ケ崎市附属機関の会議の公開に関する条例により一般に公開することになっております。その中で、会議録には、原則、発言者の氏名を記載するようになっておりますので、委員の皆様にはあらかじめご了解いただきたいと思います。次に、会議録署名人の指名をさせていただきます。今回は、安藤委員、塚本委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。
安藤委員 塚本委員	〔両委員了承〕
事務局	はい。ありがとうございます。お二人には会議録が作成され次第、事務局から連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは議題の「(1) 会長、副会長の選任について」でございます。スポーツ推進計画審議会条例第5条第2項の規定により、会長及び副会長は委員の互選により選任するとされています。まず、会長の選任をお願いいたします。会長についてはいかがいたしますか。
池田委員	はい。田簑先生が長く会長を続けられていますので、引き続き再任を望むという声がたくさんありますので、田簑先生に会長をやっていただけたら良いと思いますが、

	いかがでしょうか。
事務局	はい。ただいま、田簑委員の選任を望む発言がございました。会長に、流通経済大学の田簑委員を選任するということでよろしいでしょうか。
各委員	[拍手で承認]
事務局	ありがとうございました。それでは田簑委員に引き続き会長をお願いいただければ と思います。続きまして、副会長の選任をお願いいたします。副会長は今までスポー ツ協会より選出された山﨑委員に務めていただきましたが、今年度は退任されており ます。そういった状況ですが、いかがですか。どうしましょうか。
池田委員	はい。副会長は、スポーツイベントとの関わりが深い、スポーツ協会から選出した 方が良いと思います。市の職員として長くスポーツ振興にも携わってこられました、 直井委員はいかがでしょうか。
事務局	ただいま、直井委員の副会長就任を望むご発言がありました。直井委員でいかがで しょうか。
各委員	〔拍手で承認〕
事務局	ありがとうございます。それでは会長に、流通経済大学の田簑委員。副会長に、龍 ケ崎市スポーツ協会の直井委員を選出することを決定いたします。田簑委員、直井委 員よろしくお願いいたします。両委員につきまして、会長席、副会長席、前の方に移 動をお願いしたいと思います。
田簑会長 直井副会長	〔両委員移動〕
事務局	それでは就任にあたり、田簑会長、直井副会長に一言ご挨拶を頂戴したいと思いま す。それでは田簑会長からお願いいたします。
田簑会長	〔会長・挨拶〕
事務局	ありがとうございました。直井副会長お願いいたします。
直井副会長	〔副会長・挨拶〕
事務局	ありがとうございました。議事に入る前に 1 点、委員の皆さんにお願いいたします。発言する際は必ず席の前のマイクのボタンを押してから発言をお願いします。また発言が終わりましたら、同じようにマイクのボタンを押して解除をしていただければと思います。 それではここから議事の進行は田簑会長にお願いしたいと思います。田簑会長よろしくお願いいたします。
田簑会長	はい。よろしくお願いいたします。早速でございますが次第に従いまして、今、議事の(1)が終了いたしましたので、引き続き議事の「(2)龍ケ崎市第3次スポーツ推進計画の進捗管理について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(2) 龍ケ崎市第3次スポーツ推進計画の進捗管理について 〔資料の訂正、会議資料に基づき説明〕
田簑会長	ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明につきまして、ご質問或い はご意見ございましたらお願いいたします。
田中委員	田中です。質問ではなくて、要望になってしまいますが。 私は今まで子育てを3人しましたが、上の子が18歳で下が中学校、今3年生です。 その中で、学校の行事、例えば、市の陸上記録会がなくなったり、学校でのマラソン 大会がなくなったり、運動会も縮小したりと、そういうスポーツイベント的なものが 大分縮小傾向になったと思うんですね。保護者としてはちょっと寂しい思いがあった と思っています。 あと、今回も事業報告にもありましたが、部活動が地域移行になるということで、 すごく子どもたちのスポーツ環境というのが大きく変わってるときなんだなと実感し

I	1
	ています。 その中で、学校側で体育イベント、スポーツイベントができないということはやっぱり、市・地域が主体となって子どもたちにスポーツをする機会を提供するということがとても重要なんだなと思ってます。 龍ケ崎というのは、運動公園がすごく充実していると思うんです。アリーナであったり、スタジアムであったり、フィールドであったり、もっと子どもたちに、こんなに龍ケ崎、素晴らしい施設があるんだっていうことを知っていただきたいと思うので、是非、そういう施設を使って、スポーツイベントを継続して(開催するよう)お願いしたいなと思います。 特に中学生が参加しやすいイベントっていうのが、なかなか難しいとは思いますが。例えばリレーマラソンも、中学生も参加できるとは思いますが、中学生の部を作って、学校単位ですとか部活動単位ですとか、そういった形で、参加しやすい部門などを作っていただきたいなと思いました。よろしくお願いします。
田簑会長	ありがとうございました。何か事務局から今の発言に対してありますか。 お願いします。
事務局	はい。田中委員のおっしゃる通り、数年前、コロナ前は陸上記録会や、あとは駅伝大会ですか、そういったものを全体でやっていましたが、なくなっています。 今現在、部活動の地域移行というところで、いろいろ課題がある中で、運用の途中というところでございます。 スポーツ推進課としましては、田中委員のおっしゃる通り、リレーマラソンなどに部活動で参加だったり、リレーマラソンだと団体でないとなかなか参加しにくいと思いますが、そういったところに子どもたちの参加を促すようなものだったり、本日は、たつのこまちづくりパートナーズさんもいらっしゃってますが、中学生向けのスポーツ教室等や、地域移行するための受け皿といいますか、子どもたちの選択肢をなるべく多く設けるような事業を推進していきたいというふうに考えております。以上です。
田簑会長	はい、ありがとうございました。その他ございますでしょうか。 はい、お願いします。
青木委員	9 ページご覧ください。私はシルバーリハビリ体操という体操をやっております。ここに事業内容として、真ん中あたりに、高齢者向けの体操教室、そして身近な場所で気軽にできる健康づくりというふうに書いてあります。その下に行くと健康増進課はまいんのことが、あと、まいりゅうコロコロのことしか書いてないんです。シルバーリハビリ体操は、県で始めて、もう 20 年経ってます。今年でちょうど 20 年目です。ちょっと調べてきたんですが、昨年、令和 6 年度の龍ケ崎市の高齢者の延べ人数、参加人数は 13,505 人だそうです。1 万人以上がこのリハビリ体操に参加してるわけですよね。そして、それを指導する指導士は、県の方で何時間も講習を受けて、今、1 級 2 級 3 級と龍ケ崎市におります。その人たちが、会場に行って、高齢者に体操を教えて、いわゆる健康づくりですね。なので、高齢者のいわゆる介護予防としてとらえるのか、それをスポーツとしてとらえるかっていうのが、ちょっとどうなのかなっていうのを感じています。なので、もう少しリハビリ体操というのを見て欲しいなと思います。結局、元気なお年寄りがどんどん増えるということは、何て言ったっけ、ちょっと言葉が出てきませんが、元気なお年寄りがいいことだと思いますので、そのリハビリ体操にもう少し注目して欲しいなと。20 年間一生懸命やってきて、全然あんまり話題に載ってないので。高齢者の健康づくりの体操として、もう少し注目して欲しいなと思います。以上です。
田簑会長	はい、ありがとうございました。 はい、お願いいたします。
事務局	はい。ありがとうございます。今回こちらのスポーツ推進計画には、その辺の記載がなくて大変申し訳ございません。担当課と調整をしまして、高齢者のための健康づくりということですので、推進計画の方に載せていくような形で、進めていきたいと

	思います。よろしくお願いします。
青木委員	はい、よろしくお願いします。
田簑会長	その他ございますでしょうか。 はい、お願いします。
田畑委員	私の方から、達成目標に関する内容でご質問したいんですが、まず17ページの、スポーツ指導者の養成・資質向上の支援とアスリートの競技力向上という形で、ここでは達成目標が、講習会に参加した指導者と、あと市民参加型スポーツ技術講習会等の参加人数という形で、令和5年度だと397名が参加していたんですが、令和6年度が急に39人と達成率が大幅に下がってしまった。この背景には何があったのかなっていうのと。それと合わせた形で、36ページの障がい者の施設利用に関するところなんですが、こちらも令和5年度、利用のベースが112%、3,919(人)と概ね達成してる中で、また令和6年度になると、2,424(人)ということで達成率が半減してしまった。この背景にはどんなことがあったのかなということをちょっとお聞かせ願えればと思います。
田簑会長	はい。お願いいたします。
事務局	はい。まず17ページですが、市民参加型のスポーツ技術講習会等の参加者数ということで、こちらはスポーツ協会の事業になります。隔年でスーパージュニアアスリート育成講習会というのをやっていまして、令和5年度は陸上の為末大さんを呼んで、子どもたちを中心に、大きく陸上教室的なことをやりました。オリンピアンを呼ぶのに少々お金がかかるということで、今、隔年開催しています。そのようなことから、令和6年度はアスリートの実技講習をやっていません。今年度は、今、鹿島アントラーズと連携をとっていますので、サッカー教室をやろうと考えています。
田簑会長	ということは、ここの数字は隔年で上がったということですね。
事務局	そうですね、この実績についてはそうなってしまいますね。はい。
田畑委員	わかりました。
事務局	36ページは、先ほどの説明の中にありましたが、障がい者の福祉施設、特別支援学校で運動会を開催しまして、そちらの参加者が令和5年度は2,000人だったんですが、令和6年度の申請は800人ということで、この辺の差で。あくまで施設の方で貸し出しをして、実績は申請の数字を上げていますので、そういった形で差が出てしまっているということになります。
田畑会長	ありがとうございました。そうなってくると、これ毎年毎年その達成度や目標値を掲げて、上げていくことによって、隔年ではやはりばらつきがでてくるというところで、達成度の数字が大きくなってしまうから、当初計画では徐々に増やしていくというところはあるかもしれないけど、ある程度のラインで(目標値を)切っておいた方がいいような気もしたのでご質問させていただきました。ありがとうございます。
田簑会長	見え方はよろしくないですよね。(達成度を)頑張った次の年は全然頑張ってないっていうことになりますので、そのあたり、どういうふうに表記するか、またご検討いただければと思います。 それ以外にございますでしょうか。 太田垣先生とは、あちこちで顔を合わせることが多いんですが、ちょっと教えていただきたいと思います。今、高校の水泳授業が、よく最近ニュースで中止と流れています。日本水連(日本水泳連盟)の会長の鈴木大地さんが、今回立候補して、当選した暁にはやっぱり水泳は絶対やるんだみたいなことをおっしゃっていましたけど、龍ケ崎市はどうなんでしょうか。水泳の授業というのはやっているんでしょうか、やっていないんでしょうか。
太田垣委員	私の方からいいですか。そうですね、当校はプールがありませんので、そういう意味では学校としては、体育で水泳の授業もやっていませんし、部活動としても水泳は

-	
	残念ながらできないです。ただ、小学校から附属中に入ってくる生徒さん、それから、中学から高校に入ってくる生徒さん、それぞれ小・中で水泳を経験してくる生徒さんは毎年、少数ではありますが、何人かずつ入学をしてきます。この子たちに対して、学校に部活がありませんので、我々としては、その競技については当校ではできませんということもできるんですが。例えば、高校側も中学側も大会の引率が学校の教員でなければできないというような縛りがありますので、教員がある意味ボランティアで、休日を含めて引率をして、なるべくその子どもたちに応えられるようにということで、今やりくりをしてる状況にあります。ちょっと直接お答えになってないかもわかりませんが。
田簑会長	すみません。ありがとうございます。先ほどの運動部活動の地域移行、今現在、クラブ・ドラゴンズは試行的にやっているということですが、以前のこの会議でも、やはり話題として出たときに、流通経済大学がスポーツ健康科学部という専門の学部があり、施設もあるので、カリキュラムの変更等も含めて、これは一緒になって考えていく、そういったところも使いながら。 先ほど田中委員からもありましたが、せっかくこれだけの施設があって、子どもたちができる機会はあるけれど、減っていってるということを回復していくには、色んな団体が協力した形で、何かこう、いい方向に向けばいいのかなあと思う一方、暑いからプール入るんだろうなと思っていたんですが、暑いから今プールに入らないという時代になったので、これはちょっと、何かよくわからないなって思いながら過ごしていたので、今日お伺いさせていただきました。ありがとうございました。それ以外にいかがでしょうか。何か聞きたいことありませんか。
池田委員	先ほどの部活動地域移行のことなんですけど。今、孫が中学校の野球部に入っていますが、すごい狭間になっております。月2、3回父兄の会議をしたり、子どもたちにアンケートを取ったりして。4月に野球部の活動はクラブ・ドラゴンズに移行して、土日はドラゴンズで(活動)って言われましたが、それが急に稼働しなくなって。ドラゴンズ、人数が集まらなかったんです。今度は、龍ケ崎市が東西で分かれて3校ぐらいずつ野球の新人戦などをやっていたんですが、それを今度は一本化して、龍ケ崎市全部の中学校が1個になって試合に出ようということになりました。人数は26名しかいないんですけど。小学校からやってた子どもたちは、試合に出られるような、経験豊富で上手な子たちがいます。中学校から野球を始めたっていう子たちは、当然のように、試合には僕たち出られないんだから、もう野球は続けたくないなっていう気持ちの狭間ですごく今動いております。というのが現実で、少子化が本当に原因なんですが、野球部だけではなくて、違う部活に対しても、今後、龍ケ崎の中学校全体でバスケットをやる、バレーボールをやるようになってしまうというのが現実だと、皆さんにお話ししておきたいなと思います。県立であります、竜ヶ崎第一高等学校附属中学校は、市内の中学ではなく、私立でもないので、県立なので別格なんです。野球は、市内の中学でではなく、私立でもないので、県立なので別格なんです。野球は、市内の中学校で勝ったチームが竜ヶ崎第一高等学校附属中学校と戦い、県南大会、県大会に出場すると説明があったので、父兄も今、戸惑っている状態でございます。今からの部活動地域移行に対して、どの競技にもそういう問題はずっと続いておりますが、これ、ここ(スポーツ部門)の会議ではなく、やはり教育委員会が関連しておりますので、難しいことになってるなということで、実感したところでございます。以上です。
田簑会長	ありがとうございました。大変な問題ですよね。
池田委員	そうなんです。少子化なんです。本当に。
田簑会長	その他にございますでしょうか。 私から 1 点、スポーツツーリズムの件について、お聞きしてもよろしいでしょうか。 29 ページですが、実施内容や計画についても、これはこれで理解をしております。 ただ一方で、やっぱりスポーツツーリズムっていうのは、何て言いますか、市の経済

	を少しアップする、すごくいい機会だとは思っているんですね。6 年度実施の (1) ③ のところで自治体職員の育成を目的とした研修会ということで岩手、長野、北海道に行かれて、これは、(事務局の) どなたか行かれたんですか。それとも全然違うところの (部署の職員が行かれたんでしょうか)。
事務局	そうですね。私は北広島市に行きました。札幌市から北広島市という人口 5 万人ぐらいのところにファイターズが移転したということで話を聞きに行きました。
田簑会長	ぜひ、せっかく研修に行かれたので。ただ、そこで得られたものが龍ケ崎で使える ものがあるかどうかですね。そういったことも、ぜひご検討いただきたい。
事務局	はい。それでは、私、北海道の北広島市に部長と一緒にお伺いしました。札幌市から北広島市に、エスコンフィールドという新たな施設を誘致したという、市長さん、あと誘致に積極的に携わった副市長さん、教育長さん、こういった方とお話をする機会がありました。そこで感じたのは、北広島市も北海道の札幌の隣接の自治体なんですが、東京や色んなところに自治体のPRに行くんですが、名前を知られていない。自治体が幾らPRしても、人っていうのは流れてこないですよねっていうところで。少子高齢化というのはもう何十年も前から言われていて、その中で北広島市としては、ひとつの手法として、北海道日本ハムの誘致をしたというような話をされていました。 本市としましては、そういったひとつの、アドバルーンではないんですけど、スポーツ部門では、「スポーツクライミング龍ケ崎」というものをかけて、野口啓代さんとかの力を借りて、何とかPRできないかということで、昨年からスタートしてますので、こういった事業に勉強してきたことを生かしていきたいなというふうに考えております。 岩手県の紫波町はバレーボールの専門の体育館や、JR駅前に広大な土地があったので、そこに公共施設をまとめて、全国から自治体が視察研修に来るような、優良事例ということでやっていますが、体育館などは民間が建てたというようなところでございます。バレーボール専用の体育館となりますと、公共の自治体で建てるというのは難しいですが、民間ですとそういうこともできるというところで、全日本なのか、プロチームなのかわかりませんが、そういったところの誘致も盛んにしているというようなところがございます。以上です。
田簑会長	ありがとうございました。その他ございますでしょうか。 ないようでしたら、進捗管理については、この程度にしたいと思います。 次に (3) その他についてでございます。事務局の方で何かご用意ございますでしょうか。
事務局	「スポーツクライミングのまち龍ケ崎」基本構想 概要版 〔資料に基づき説明〕
田簑会長	ありがとうございました。今の件について、簡単な質問等ありますでしょうか。 私から、2点。私、専門がスポーツ文化人類学ですので、これまでいろんなところ で調査をしたり、或いは今の仕事の中で、別の自治体さんに行くことがあって。特 に、日本にはいろんなスポーツのメッカといいますか、そういうところがあります。 例えばサッカーだったら静岡県、磐田とか清水。ラグビーですと今幾つかありますけ ど、やっぱり何と言っても、歴史的には釜石だということで、釜石と流通経済大学は 協定を結んでおりますので、何度か釜石に行って。静岡に行ってもそうなんですが、 市としてスポーツクライミングのまちという以上は、ひとつ、今回出てきていないん ですが、いわゆる文化として根付かせるんだという、文化ということをキーワードに やっていただければなと。15年もしっかり続ければ、初めて(クライミングウォール に)登った子どもももう大人になっていますし、その頃にオリンピックの正式種目で 残っていれば、本市からオリンピアンが出る可能性もあると。当然いろんな社会的な 大会をするということは、非常に重要なことだと思います。 もう1つのお願いは、そういう世界的なイベントを開催することで、経済的にちょ

	っとでも潤ったら、そのお金を持って、他のスポーツにも行くように、何かそういったスキームもご検討いただければと。ざっくばらんに言いますと、これまで一生懸命頑張ってこられたいろんな種目の方がいる中で、突然ポンとこう出てきて、全部持ってくぞみたいな、そうならないように、わかりやすくですね。普段は他のスポーツを一生懸命やられてる方でも、今度、クライミングの大会があるから子ども、それこそお孫さんを連れて、ちょっと見に行くかというようなことが、醸成されることが、すごくまさに、継続的に発展していくために重要かなと思いますので、ぜひ大変なことだと思いますが、よろしくお願いします。 よろしいですか。その他、何かございますでしょうか。委員の方々でその他、お持ちの方いらっしゃいましたら。 特に、その他ないようでしたら、以上をもちまして本日の議事を終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。
各委員	ありがとうございました。
事務局	慎重審議ありがとうございました。 それでは以上をもちまして、令和 7 年度龍ケ崎市スポーツ推進計画審議会を閉会させていただきます。本日はご出席ありがとうございました。
各委員	ありがとうございました。